

# 2022年度 事業報告書

2022年4月1日から2023年3月31日まで

特定非営利活動法人3・11甲状腺がん子ども基金

## 1 事業の成果

2022年度は、4月1日から3月31日までを第7期として、甲状腺がんと診断された子ども・若者に対して療養費を給付する「手のひらサポート」事業を実施した。特に今年度は給付額の増額に踏み切り、手術（診断）、再手術、アイソトープ治療（複数を含む）に対する療養費をそれぞれ5万円ずつ増額することを決定した。新規の申請者はもとより、すでに給付を行っていた受給者に対しても増額分を遡及して給付することとした。このほか、進学や就職で地元を離れても手術した主治医のもとに定期通院する人が多く、通院交通費の助成や、甲状腺がんを経験したのち妊娠した方で、甲状腺ホルモンの調整のため、産婦人科と共に甲状腺科にも通院する必要がある人がいることから、妊娠・出産支援金や、ひとり親など経済的困難を抱えている受給者の家庭などへの付加給付を実施してきており、社会的課題として、こうした支援を継続した。

療養費増額に伴う遡及給付については、169名、延べ1,315万円の給付となり、たいへん感謝された。新規申請者は24名であった。またこの給付に伴って、現状、および健康面や生活面での心配事、甲状腺検査に関して行政に望むことなどのアンケートを実施し、それらをまとめた報告書『手のひらサポートアンケート2022』を作成した。この報告書を国会図書館や福島県立図書館、福島県県民健康調査検討委員会委員、メディア、研究者など、関係者に広く送付・配布し、一般の方たちにはホームページより無料で電子版をダウンロードできる形にした。甲状腺がんの子どもたち・若者たちの実情を広く周知することができ、10周年の報告書に続き、大きな成果となった。

事務局では療養費受給者および申請対象者に対して電話やメールで日常的にサポートを実施し、健康面や経済面、就職に伴う転院や術後の生活状況など、受給者の抱えるさまざまな不安や疑問に向き合っている。受給者向けの情報提供としては、季刊をベースに「てのひらレター」を発行している。

調査・提言活動ならびに情報発信・普及啓発活動として、福島県への要請、記者会見、学会発表、シンポジウムを行っている。

当事者の声を集めた報告書は福島県県民健康調査課に届け、当事者の希望に沿うよう、県に要請を行った。

学会発表としては、日本甲状腺学会、東日本大震災・原子力災害学術研究集会で発表を行った。甲状腺がん当事者の状況は、医療・健康面のみならず生活面・心情面でも知られておらず、医療者にとっても貴重な報告であると評価された。その他、諸市民団体の要請に基づいて、甲状腺がん当事者の状況を報告した。

療養費の増額、当事者アンケート報告書作成、福島県への要請、シンポジウムについては記者会見も行き、それぞれ報道された。

2023年3月25日には、第3回のシンポジウム「原発事故と甲状腺がん 当事者の声をきく vol. 3」を、福島県郡山市のミュージカルがくと館ならびにオンラインのハイブリッドで実施した。福島県の甲状腺検査の問題点、当事者アンケートの報告、そして当事者の3名が、ボイスメッセージ、オンライン参加、さらに会場参加といった形で発言し、当事者としての声を多くの人に届けることができた。参加者および視聴者からは「当事者の生の声を聞くことができる貴重な機会」とであると、好評を得た。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

| 事業名   | 事業内容   | 実施日          | 実施場所       | 従事者の人数   | 受益対象者の範囲及び人数                                  | 事業費の金額(千円) |
|---|--|--------------|------------|----------|---|------------|
| 東京電力福島第一原子力発電所事故以降、甲状腺がんや甲状腺疾患、その他、被曝影響によると思われる病気に苦しむ子どもたち等への支援及び被曝影響に関する調査事業   | 小児およびAYA世代の甲状腺がん患者とその家族を経済的に支援する療養費給付事業「手のひらサポート」第7期<br>新規24名、再手術8名、アイソトープ治療10名、妊娠・出産8名、コロナ感染13名、特例5名、通院交通費助成17名、療養費増額分遡及給付169名、計423名に給付（重複あり） | 毎月           | 事務所        | 5名       | 甲状腺がんと診断された子ども・若者・その家族（対象地域1都15県）<br><br>210名 | 31,096     |
|   | <b>相談とフォローアップ</b><br>・当事者向け情報発信「手のひらレター」発行<br>・当事者交流会<br>・事務局員による傾聴・相談   | 年4回          | 事務所        | 2名       | 210名  |            |
|   | <b>情報発信・普及啓発活動</b><br>・療養費事業普及啓発の広報活動（福島県内での戸別配布）<br>・福島県県民健康調査課面談（報告書贈呈と当事者の希望について要請）<br>・記者会見（アンケート報告と当事者の希望について）<br>・記者会見（シンポジウム後）会場&オンライン  | 11/5<br>常時   | 福島市<br>事務所 | 4名<br>2名 | 7名<br>不特定多数                                   |            |
|   |  | 8月中旬         | 事務所        | 3名       | 不特定多数   |            |
|   |  | 12/1         | 福島市        | 2名       | 不特定多数   |            |
| <b>調査・提言</b><br>・アンケート報告書「手のひらサポートアンケート - 甲状腺がん当事者の声2022」作成・発刊（電子版）<br>・学会発表：甲状腺学会<br>東日本大震災・原子力災害学術研究集会<br>・シンポジウム（会場&オンライン）「原発事故と甲状腺がん - 当事者の声をきくvol.3」 | 12/1   | 福島市          | 4名         | 不特定多数    |   |            |
|   | 3/25   | 郡山市          | 8名         | 不特定多数    |   |            |
|   | 4月～10月<br>11/30発刊  | 事務所          | 7名         | 不特定多数    |   |            |
|   |  | 11/3<br>3/17 | 大阪市<br>福島市 | 2名<br>2名 | 不特定多数<br>不特定多数                                |            |
|   |  | 3/25         | 郡山市        | 12名      | 約250名   |            |

(2) その他の事業

| 事業名  | 事業内容 | 実施日 | 実施場所 | 従事者の人数 | 事業費の金額(千円) |
|------|------|-----|------|--------|------------|
| 該当なし |      |     |      |        |            |